

校長室だより

9月号

杉並区立向陽中学校
平成30年9月28日発行
校長 菅野武彦

「人間賛歌が響き渡る学校づくり」を目指して

【今年度のキーワード】

「チーム向陽 ～みんなの向陽中学校～」

◇ “第3学年” 実施の『全国学力・学習状況調査』の結果のお知らせ

4月17日に第3学年で実施した『全国学力・学習状況調査（国語・数学・理科）』の結果をお知らせします。3年生がこれまでの学習活動を通して身に付けた学力が把握できます。

★「全国学力調査」の平均正答率一覧(%) ※今年度より「理科」が調査対象に

教科	本校	東京都	全国
国語 A 主として知識	79	77	76.1
国語 B 主として活用	67	63	61.2
数学 A 主として知識	74	67	66.1
数学 B 主として活用	55	49	46.9
理科 主として知識	70	65	67.9
理科 主として活用	68	65	64.9



修学旅行「京ごま作り体験」の様子

★各教科領域別の平均正答率一覧(%)

教科	領域	本校	東京都	全国
国語 A	話すこと・聞くこと	79.9	77.0	75.2
	書くこと	78.0	75.8	73.9
	読むこと	79.7	78.4	76.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	79.2	76.8	76.5
国語 B	話すこと・聞くこと	82.2	78.0	76.6
	書くこと	33.7	32.2	31.3
	読むこと	60.1	56.1	53.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	49.5	50.3	49.2
数学 A	数と式	75.1	71.4	71.1
	図形	76.9	71.1	69.1
	関数	64.9	56.6	55.5
	資料の活用	76.5	65.0	63.5
数学 B	数と式	60.4	53.2	51.4
	図形	53.5	50.2	46.7
	関数	61.4	54.0	52.8
	資料の活用	47.3	41.1	38.0

教科	分野	領域	本校	東京都	全国
理科	第1分野	物理的領域	77.8	73.7	74.4
		化学的領域	66.7	63.7	65.0
	第2分野	生物的領域	73.6	71.0	72.5
		地学的領域	61.4	58.3	57.8

3年生は“勉強漬け”の夏休みを経て修学旅行へ。「大人に頼らない3日間」のチャレンジ！をこれからも。中間考査後には、君たちの大好きな『向陽祭』の取組みが待っています。後輩に“これぞ3年生！”を示す最後のチャンスです。そして、来たるべき進路選択・入学試験に向けて、試練を乗り越える「たくましさ」を身に付けましょう！

◇ “第2学年”実施の『生徒の学力向上を図るための調査』の速報値のお知らせ

7月5日に第2学年で実施した東京都『児童・生徒の学力向上を図るための調査』の速報値が出ましたのでお知らせします。都との比較で2年生の現段階での学力を把握することができます。

★「学力調査」の教科の平均正答率及び合計正答率一覧(%)

教科	A 教科の内容		B 読み解く力に関する内容					教科の合計正答率	
	本校	東京都	①	②	③	本校	都	本校	東京都
国語	70.3	73.8	86.4	63.1	59.1	67.9	69.6	70.0	73.1
社会	56.0	63.3	60.8	34.1	40.9	45.3	52.1	53.7	60.9
数学	58.7	56.8	55.3	58.0	58.0	56.8	43.9	58.2	53.6
理科	52.2	54.3	83.0	53.4	20.5	52.3	50.1	52.2	53.3
英語	63.7	58.9	44.9	61.8	39.9	48.9	45.5	60.2	55.8
		本校	66.1	54.1	43.7				
		東京都	65.4	52.6	39.1				

① 取り出す力・・・必要な情報を正確に取り出す力

② 読み取る力・・・比較・関連付けて読み取る力

③ 解決する力・・・意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力

★意識調査の回答状況 (%)【一部抜粋】

設問番号	質問内容	よく分かる	どちらかといえば分かる	どちらかといえば分からない	ほとんど分からない	無回答
問1-1	国語の授業の内容はどのくらい分かりますか。	45.5	46.6	8.0	0.0	0.0
問1-2	社会の授業の内容はどのくらい分かりますか。	36.4	45.5	17.1	1.1	0.0
問1-3	数学の授業の内容はどのくらい分かりますか。	51.1	35.2	10.2	3.4	0.0
問1-4	理科の授業の内容はどのくらい分かりますか。	29.6	50.0	17.1	3.4	0.0
問1-5	英語の授業の内容はどのくらい分かりますか。	46.6	36.4	15.9	1.1	0.0
問2-1	分かる理由「お互いに意見を出し合ったり、学び合ったりする授業が多いから」の教科毎肯定率	国語 56.8	社会 69.4	数学 21.1	理科 50.0	英語 42.5

問2-2	分かる理由「先生の教え方がていねい」	28.4	54.2	29.0	44.3	43.8
問2-3	分かる理由「自分で考え、考えを発表する授業」	44.4	44.4	23.7	37.1	32.9
問2-4	分かる理由「理解の程度によるコース別」	—	—	63.2	—	—
問2-4	分かる理由「観察したり実験したりする授業」	—	—	—	67.1	—
番号	質問内容	している (思う)	たいてい している	しないこ とが多い	ほとんど しない	無回答
問6-1	授業では、自分の考えを発表する機会がある。	63.6	30.7	5.7	0.0	0.0
問6-2	授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている。	54.8	40.9	3.4	1.1	0.0
問6-3	授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を設定し、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理し、発表するなどの学習活動に取り組んでいる。	34.1	44.3	19.3	2.3	0.0
問7-1	自分の住む地域や社会をよくしたいと思う。	48.9	38.6	8.0	4.6	0.0
問7-2	たとえ小さなことでも、地域や社会をよくするために何かしたことがある。	38.6	43.2	13.6	4.6	0.0
問7-3	学校の基礎やきまりを守ることが大切だと思う。	59.1	33.0	8.0	0.0	0.0
問7-4	学校の規則やきまりを守っている。	52.3	42.1	5.7	0.0	0.0
問7-9	自分は最後までやりぬくなど、根気強い方だと思う。	25.0	40.9	26.1	8.0	0.0
問7-10	自分のことを大切な存在だと感じている。	29.6	38.6	21.6	10.2	0.0
問7-11	学校や生活の中でものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	60.2	29.6	6.8	3.4	0.0
問7-12	学校や生活の中で他の人から認められたり、ほめられたりしたことがある。	58.0	33.0	8.0	1.1	0.0
問7-14	将来、社会や人のために役立つ仕事がしたいと思う。	53.4	37.5	4.6	4.6	0.0
問7-15	自分の将来に希望をもっている。	47.7	27.3	18.2	6.8	0.0

学校生活充実のカギは「友達関係」。全校朝礼での話し合いで君たちから出た意見です。君たちにしかできないことです。夏休みから部活動の中心的存在として頑張り始めた2年生。今後は生徒会や委員会活動でも全校をけん引することが求められます。こうした機会を「友達関係」づくりに生かしてはどうでしょうか。

上記のアンケートからは、9割以上の2年生が認められたり、ほめられたりした経験をしています。また、将来、社会や人のために役立つ仕事をしたいと思う2年生も9割を超えています。他の人とよりよい関係をつくる下地が整っています。あとは実践あるのみ。自分に向き合うことで前進させましょう。そして、仲間と励まし合って乗り越えていきましょう。頑張り、2年生！



上：土曜授業「誕生学」の授業 下：2年生が主役になる生徒会立会演説会 ↑

◇ 「家庭学習の状況」のお知らせ / 生徒の主体的な学びをどう推進するか！

まずは下の円グラフをご覧ください。7月に実施した生徒による「授業アンケート」の中で、「学校の授業の予習や復習、受験勉強などで、1日あたりどのくらい家庭学習をしているか」を聞きました。円グラフ下の4段階のなかで自分に当てはまるものを選んでもらいました。その集計結果（29年度と30年度）です。このグラフから1時間以上家庭学習を行っている生徒の割合（円グラフ内の4と3の割合）は、1年生が49%、2年生が37%、3年生が42%ということが分かります。1年生が一番多いのは初めてです。また、現2・3年生の昨年度との比較、現1・2・3年生と昨年度の1・2・3年生との比較ができます。現2年生は「1時間以上」の割合が減り、「30分～1時間」の割合が増えました。現3年生は「0～30分」の割合が減り、「30分～1時間」の割合が増えました。ただ、昨年度の3年生と比較すると、「1時間以上」の割合に大きな差が見られます。

以上のような家庭学習の実態をどうとらえ改善していくか。「学力向上」並びに「主体的な学び」を育成する上で大きな課題です。3年生はこの夏休みから“勉強漬け”の人も多く、現状はもっと改善しているものと思われます。では1・2年生をどうするか。これまでも見られた傾向に“2年生問題”があります。1年生の時より家庭学習の時間が減ってしまうことです。今年度も昨年度より「1時間以上」の割合が11ポイント下がり、「0～30分」の割合が倍増しています。今年度は『5教科の家庭学習の手引き』の活用を教科毎に指導するとともに、学年毎に保護者への協力を働きかけています。まずは本人の自覚が最優先です。そして、「学力向上に家庭学習は不可欠！」を保護者と共有・連携していきたいと思えます。

1年生は「2時間以上」が少なく「1時間～2時間未満」が最も多く、併せて半数近くの生徒が「1時間以上」家庭学習に取り組んでいます。今後一歩前進させるために各教科からと学年から生徒への働きかけを行い、保護者との連携を継続していけたらと考えます。英語のスペコンの結果や夏休みの宿題「職業インタビュー」の出来映えからは1年生の頑張りを感しました。

